

# 情報セキュリティとリテラシ2 ガイダンス

名古屋大学 情報基盤センター  
情報基盤ネットワーク研究部門  
基盤ネットワーク研究グループ

嶋田 創

# 講義で学習してもらう内容

- インタプリタ形式のオブジェクト指向スクリプト言語の1つである、Pythonのプログラミングを学ぶ
  - 基礎的なプログラミングのリテラシを身につける
- スクリプト言語はシステム管理、ウェブサービス管理、セキュリティ管理で多様される
  - アプリケーションのログの処理
    - 例: ユーザshimadaは今月は何回ログインしたか
    - 例: ウェブサーバ中のコンテンツを閲覧回数の多い順にランキング作成
  - アプリケーションをまたいだ自動処理
    - 例: x回以上認証失敗したIPアドレスを切り出してファイアウォールに転送し、ファイアウォールで遮断を設定
- 初歩を習った上で演習で実践を行なう
  - 変数の概念、基本的なデータ型、制御文、関数呼び出し

# 成績評価、他

- 小演習課題(50%)と最終課題(50%)で評価
  - 全部電子データの形でTACT(後述)から提出してもらう
- 出席して演習を行うことに重きをおいている講義ですので、**3回以上欠席した場合の成績は「欠席」**になります。
  - TACT小テストから出席確認を行います
    - 10:15-12:15の間のみ回答できます
    - 学内ネットワークからでないとは回答できない制限あり
  - 正当な理由(病気や忌引など)による欠席の場合は、カウントを1/2にします
    - 正当さを示す書類(診断書など)を準備して下さい
    - 正当な理由ならば、できるだけ事前に連絡下さい

# スタッフ連絡先

- 教員

- 氏名/電子メール: 嶋田 創(しまだ はじめ) / shimada
- メールアドレスは、後ろに@itc.nagoya-u.ac.jpを追加
- 居室: 情報基盤センター 5F 501号室(2Fの学生室にいることも)
- 出張中/会議中の除き、9:00前後～19:00前後の範囲でいます
- 電話: 052-789-4390 (内線4390)

- ティーチングアシスタント(TA)

- 氏名/電子メール: 松波 旭(まつなみ あきら) / matsunami@
- 氏名/電子メール: 小川 剛史(おがわ たけし) / t-ogawa@
- メールアドレスは、後ろにnet.itc.nagoya-u.ac.jpを追加

- ICE計算機室関係は計算機準備室の技官の方に聞いてもOK

# 講義スケジュール

- |         |     |  |
|---------|-----|--|
| 6/14(金) | 第1回 | ICE計算機システムのガイダンス、Pythonというプログラミング言語の概要 |
| 6/21(金) | 第2回 | 計算機システム上でのPython実行/標準入出力               |
| 6/28(金) | 第3回 | 各種変数/データ型/演算                           |
| 7/5(金)  | 第4回 | 各種条件分岐処理およびループ処理                       |
| 7/12(金) | 第5回 | ファイル入出力                                |
| 7/19(金) | 第6回 | 関数呼び出し                                 |
| 7/26(金) | 第7回 | 正規表現による文字列処理                           |
| 8/2(金)  | 第8回 | Pythonのサーバのログ処理への応用実習                  |

# 講義ページ

[http://www.net.itc.nagoya-u.ac.jp/~shimada/2024info\\_sec\\_lit2/](http://www.net.itc.nagoya-u.ac.jp/~shimada/2024info_sec_lit2/)

- 講義資料は講義ページとTACT両方に置きます
  - 講義ページの方は認証無しで資料にアクセスできて便利なので
- 講義ページには、講義に関連した情報へのリンクも準備します



```
#!/usr/bin/env python3
import qrcode
img = qrcode.make('http://www.net.itc.nagoya-u.ac.jp/~shimada/2024info_sec_lit2/')
#img.show()
img.save('QRlecture_page.png')
```

ちなみに、Python 3で  
こんな感じで生成できます

講義ページのQRコード

# Tips

- 「講義をじっと聞く」というよりも、「講義を(流し気味に)聞きながら、手元の端末でも説明された操作を試す」方が身につくと思います
  - もちろん、人によって向き不向きがあるので、不向きだったら無理してこの方法をやらないで下さい
  - もちろん、演習の時間は演習の時間で取ります
- 演習の時間で迷ったら早めに教員やTAを呼んで下さい